

氷上の舞台で、 世界に挑み続ける



写真：森田直樹 / アフロスポーツ

ミラノ・コルティナ2026
パラリンピック冬季競技大会

車いすカーリング(ミックスタブルス)

小川亜希 選手

グループステージ3勝4敗 6位



写真：ロイター / アフロ

鴻巣市在住の車いすカーリング小川亜希選手がミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会に日本代表として出場しました。今大会から採用された車いすカーリングミックスタブルス(男女混合2人制)に中島洋治選手とのペアで挑み、世界の強豪チームを相手に熱戦を繰り広げました。

中でも注目を集めたのが、イタリア戦の最終エンドで見せたラストストーンです。試合は同点の緊迫した場面、ハウス中央には相手のストーンがあり、わずかな隙間しか残されていない状況でした。小川選手が放ったストーンはその狭い

コースを正確に通り返し、ハウス中央でピタリと止まりました。決勝点となる一点を奪い、日本の劇的勝利を引き寄せました。

車いすカーリングはスウィーピングによる軌道修正ができないため、投げた瞬間の精度がすべてを左右します。その中で決めたこのショットは観客や解説者を驚かせる一投となりました。

惜しくも決勝トーナメント進出は逃しましたが、世界の舞台で見せた小川選手の挑戦は多くの人に感動を与えました。今後のさらなる活躍にも期待が高まります。